ごあいさつ

第十四代同窓会長　原　耕司

静商同窓会の皆様、第73回卒の原耕司と申します。

令和六年度静商同窓会定時総会に於きまして、前会長の下村勝彦氏から会長のご指名を受け、総会で承認を頂き、静商同窓会会長を務めさせて頂く事に成りました。

皆様もご存知の通り、静岡県立静岡商業高等学校同窓会は、同校の卒業生による組織であり同窓会は本部、関西支部、関東支部、中部支部、県内の焼津・藤枝・島田・清水の各支部その他様々なグループ組織等により組織活動を行っています。

本部役員は、副会長には伊藤喜代次氏（第69回卒）・萩原理右氏（第74回卒）・関原秀夫氏（第77回卒）と県内外の七支部の支部長にも副会長をお願いしております。会計には川澄真一郎氏（第77回卒）・会計監査には、永井芳明氏（第77回卒）・小長井勝氏（第81回卒）。

また、顧問には元会長赤石文男氏（第65回卒）・前会長下村勝彦氏（第62回卒）・母校より松浦真一郎校長・谷口昌弘副校長・中村洋一教頭・稲葉吉之事務長にお願いしました。

そして、組織運営を担う行動体制は、幹事長山本繁則氏（第83回卒）・副幹事長岩倉睦弘氏（第66回卒）・幹事六名、事務局中山容子氏（第76回卒）と五つの委員会です。

関西支部長　富坂誠二氏（第56回卒）
関東支部長　大石倫義氏（第71回卒）
中部支部長　原　規雄氏（第70回卒）
焼津支部長　杉山仁志氏（第77回卒）
藤枝支部長　石垣善康氏（第66回卒）
島田支部長　原田慶一氏（第71回卒）
清水支部長　川口隆司氏（第67回卒）
総務委員会委員長　佐藤若江氏（第86回卒）
広報委員会委員長　飯塚彰氏（第68回卒）
組織委員会委員長　堀内統央氏（第80回卒）
教育振興委員会委員長　杉本和隆氏（第89回卒）
クラブ奨励委員会委員長　石谷虎次郎氏（第72回卒）

以上が、私自身の理解状況です。まだこれからも私は、同窓会の役割を多くの卒業生または学校関係者から教えていただきたいと思います。是非とも静商同窓会が、歩み続けて行くために、本部役員・会員の皆さんご協力をお願いします。

最後に、同窓会の活動・運営を多様な世代または女性が活躍する粘り強い組織を実現したい。そして静商同窓会活動が、多くの卒業生に、充実した営みの手助けが、出来ます事を信じたいと熱望します。

同期会・同期生短信

静商同窓会　入会式を挙行

去る、令和六年二月二十八日に静商同窓会入会式が執り行われた。新たに二七二名が入会した。

第125回卒業生　クラス幹事
31HR　古木翔馬・渡邊美咲
32HR　松下太亮・漆畑美心
33HR　佐藤　迅・小松杏沙
34HR　久保田桂史・櫻井あずき
35HR　喜瀬川昊也・森本真芽
36HR　宮本　諒・内藤かりん
学年代表幹事
32HR　漆畑美心

令和六年　春の叙勲

増田正蔵氏

増田正蔵氏（写真＝島田支部に掲載）は、令和六年四月、藍綬褒章を受章された。青果店を営みながら保護司として犯罪や非行をした人の社会復帰を支えた功績が認められ、この度の受章となった。（島田市支部　第65回卒）

関東支部

関東支部の活動は、年三回の常任幹事会、年二回の幹事会を経て七月の総会で年度を更新しますが、この一年の間に、企画・組織・広報・応援の四つの部会が支部活動を支え、七つの同好会が会員同士の懇親を深める活動をしています。

関東支部は三十五年前に会則・活動資金・活動組織という点で自主運営できる体制を作りました。会則を定め、会員の皆さんから年会費をいただき、会報を作成して届け、毎年独自色のある総会・懇親会を開催して、七つの支部の先頭を走っていると自負しています。

会員の高齢化による役員減と若手の会員が増えないという問題を抱え、苦労していますが、昨年度から新たなテーマとして会則の改正に取組んでいます。

〈会則検討の視点〉
・従来の良さを継承した会則にする。
・民主的で分かり易い会則にする。
・時代を反映した会則にする。
・活動の指針となる会則にする。

既に、会則検討委員会（メンバー八名）の改正案はまとまり、来年七月の総会審議に向けて、役員と会員の意見を求める段階に入っています。

静商同窓会　関東支部
支部長　大石倫義（第71回卒）
▼連絡先：関東支部事務局
https://www.seisho-kanto-dsk.com/
Eメール：
sc_dsk_kantou@yahoo.co.jp

島田支部

第七回　支部総会開催

令和六年八月二十三日（金）五年振りに支部総会を開催しました。

コロナ禍明け以来となり、総勢十三名参加、前回と同じ会場、日時も偶然にも同日でありました。

このたび、春に藍綬褒章を受章されました増田正蔵様（第65回卒）のお祝いを兼ねて、支部一同より記念品をお渡しいたしました。

乾杯後、今回もフランス料理と共に、楽しく歓談のひと時を過ごしました。

なお、今年度より支部長職を原田慶一（第71回卒）が就任となりましたのでご報告いたします。

▼連絡先
事務局　原田慶一（兼務）
携帯　080−8979−6540
電話・FAX　0547−35−3163
住所　〒427−0026　島田市扇町4−11
E-mail　kh.mahler@kfy.biglobe.ne.jp

左より水野玲子事務局長（第71回卒）。藍綬褒章を受章された増田正蔵氏。原田慶一支部長

中部支部

中部支部はお陰様で昨年度、創立二十周年を迎えることができました。改めて関係各位の皆様のご支援に重ねて厚く御礼申し上げます。

平成二十七年度より昨年度迄の八年間に渡り支部活動にご尽力を頂いた、杉山隆司支部長が勇退され、長年の職務に感謝すると共に、今後も支部活動を見守って頂きたいと思います。

中部支部は、愛知県、岐阜県、三重県の東海三県在住の同窓生により構成されています。毎年一～二回発行の「中部支部だより」、毎年開催の『中部支部総会・懇親会』の名称をソフト感のある『静商同窓会中部支部　集いの会』に変更して呼ぶようにしました。

毎年開催の『中部支部　集いの会』の現況ですが、出席される会員の方は、ほぼ決まっていて、新たに出席される方はほとんどいません。更に会員の高齢化も進み欠席の回答が多くなってきました。今後もこのような状況が続くようなら、支部の存続が危ぶまれてしまいます。

今後は支部役員全員が支部の活性化に向けて意識を高め、同窓生の皆さんとのコミュニケーションを更に深めて行こうと考えています。

そこでこれからは、同窓会本部の協力を頂き、母校静商の現状を伺い支部会員の皆さんに発信し、遥か彼方に霞んでしまった静商で学んだ青春時代の思い出を呼び起こそうと考えています。

その主役は硬式野球部です。私が在学中は、一年生と三年生の夏、甲子園に出場。

第五十回大会は、決勝戦まで勝ち進みきしたが、優勝はできず栄えある準優勝となりました。

春夏通算十五回の出場を果たしていますが、夏の甲子園大会は二〇〇六年（平成十八年）春の選抜大会は一九七五年（昭和五十年）が最後の出場となっています。

是非とも近い内に春の選抜大会、夏の甲子園大会に出場するよう祈念しています。

今後は運動部・文化部の活躍している姿を支部の皆さんに届けたいと考えています。

▼連絡先：
中部支部長　原　規雄

関西支部

関西支部の支部総会は猛暑日が続いた九月、当日の気温は私たちを歓迎するかのように秋を感じる日よりの二十九日（日）に、JR新大阪駅近くのホテルにおいて、本部から新任の原会長および山本幹事長、母校からは新任の松浦校長のご来賓の方々をお迎えして開催した。

定例議案を承認と記念撮影の後の懇親会では、会員の石本理恵子（平成七年第96回卒旧姓後藤）さんが八月に、日本書道界最高峰である第七十五回毎日書道展の近代詩文書部門の輝かしい毎日賞を受賞され、受賞作品と日頃の創作活動などの紹介をしていただいた。

参加者全員は焼津から取り寄せた卓上の黒はんぺんを舌鼓ながら、時間の過ぎるのを惜しむかのように、卒業年代の壁もなく互いの静商時代に盛り上がり、和気あいあいと楽しい時間を過ごしました

▼連絡先：関西支部
・支部長　富坂誠二（第56回卒）
☎072−699−0256

第19回　静商二十（はたち）の集い

令和六年一月八日（月・祝）グランヒルズ静岡にて第123回卒業生が「二十（はたち）の集い」を開催した。一八二名が参加し、在学当時を思い出していた。

「二十の集い」にご参加くださりありがとうございました。なつかしい先生方、同窓生と再会することができてよかったです。卒業から約二年が経過し短い時間はありますが、雰囲気が変わった人も多くいて、それぞれの生活が充実しているのだと感じました。

数年後、幹事を中心にまた同窓会を開催して同窓生との絆を保っていければと思いました。

第123回卒業生
代表幹事　望月昌希

第73回卒　同期会

第73回卒生の「古希を迎えてのランチ同期会」を二〇二四年九月二十八日（土）中島屋グランドホテルにおいて、同窓生八十七名の出席で開催しました。

今回は、七十歳の年令を考えてランチ会としました。帰宅時間を気にせず青春時代のバンド演奏や抽選会等で大いに盛り上がり、欠席者一二一名からも返信ハガキが寄せられ、より一層の同期の繋がりを感じ、すばらしい古希同期会になりました。

▼連絡先：第73回卒
幹事代表　山本堅二

第73回卒　「古希を迎えてのランチ同期会」

第89回卒　同期会

令和六年九月十四日、ホテルグランヒルズ静岡に於いて、第89回（昭和63年卒）同期会が六年ぶりに開催された。

卒業生九十三名、恩師三名並びに同窓会本部より原同窓会長及び山本幹事長にも出席を賜りました。卒業して今年で三十六年が経過しましたが三名の先生方が昔と変わらない元気なお姿でご参加くださりました。

昔を懐かしみつつあっという間の二時間を過ごすことが出来ました。

▼連絡先：第89回卒
31HR　鈴木和臣

第89回卒　同期会

◎同窓会ホームページをリニューアルしました。掲載料無料の卒業生の企業やお店の紹介コーナーもあります。掲載ご希望の方は本部までご連絡ください。